8M8 607 002

Panasonic®

保管用

保証書付

エネルギーモニタ LAN 対応ユニット
電力見せる化・監視プラス

品番 BT 3802

このたびはパナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
● この説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。 ● この施工説明書は必ず保管してください。

施工説明書（簡易版）

・施工の詳細や取扱いについては同梱CDの取扱説明書（施工説明付き）をご覧ください。

免責事項

◎ 下記の場合、当社は一切責任を負いかねますのでご了承ください。

- ◆ 本製品を課金目的の計量器としてご使用された場合。
  本製品と接続する計量器は省エネ目的の自主管理商品であり、計量法に定める指定機関が行う検定に合格した特定計量器ではありません。
- ◆ 本製品の故障により記憶されたデータが消失・破損した場合。
- ◆ 本製品の設定の誤りから生ずる付随的な損害を生じた場合。（事業利益の損害、事業の中断など）
- ◆ 施工説明書（本書）および同梱CDの取扱説明書で説明された以外の使い方により損害を生じた場合。
- ◆ 当社の了承がなく本製品の構造・性能・仕様などの改造を行ったことにより損害を生じた場合。
- ◆ 当社の了承がなく日本国外で使用された場合。
  本製品は日本国内で使用されることを前提に設計・製造されています。
  外国為替および外国貿易法の規定により戦略物資など（または役務）に該当するものについては、当社の了承および日本国政府の輸出許可（または役務取引許可）がなく輸出はできません。
- ◆ 高い安全性が要求される用途として使用されたことにより損害を生じた場合。
  医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなどには使用できません。

安全上のご注意

けがや事故防止のため、以下の点は必ず守ってください。

⚠警告

禁止	● 絶対に分解・改造しない 火災・感電・故障の原因になります。
禁止	● LANケーブル差込口には LANケーブル以外を接続しない 守らないと火災・感電・故障の原因になります。
禁止	● 屋外や浴室など、湿気の多い場所に施工しない 火災・感電の原因になります。
必ず守る	● 施工時は必ず電源を切る 電源が入ったままの施工は感電の原因になります。
必ず守る	● 配線後、端子カバーを閉じる 守らないと火災・感電の原因になります。
必ず守る	● PE端子を必ず接地する 守らないと感電・故障の原因になります。

⚠注意

禁止	● インバータの2次側回路から電源端子に接続しない 本器の発熱・故障の原因になります。
禁止	● 電源電圧は、定格外では使用しない 故障や電気事故の原因になります。
必ず守る	● 電源端子への配線には、ブレーカなどの配線保護機器を設置する 電気事故の原因になります。

Panasonic 出張修理

エネルギーモニタ LAN対応ユニット 電力見せる化・監視プラス 保証書

本書はお引渡しの日から下記期間中故障が発生した場合には本書裏面記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。ご記入いただきました個人情報の利用目的は本票裏面に記載しております。お客様の個人情報に関するお問い合わせは、施工店にご連絡ください。詳細は裏面をご参照ください。

品番	BT 3802
保証期間	お引渡し日から 本体1年間
※お引渡し日	年 月 日
※お客様	ご住所 お名前 様 電話 ( ) —
※施工店	住所・施工店名 電話 ( ) —

見本

パナソニック株式会社
パナソニック エコソリューションズ電路株式会社
〒571-8686 大阪府門真市門真 1048 番地 TEL(代表)06-6908-1131

施工店様へ ※印欄は必ず記入してお渡しください。

※「LAN対応ユニット電力見せる化・監視プラス」の名称を、
本文中では「LAN対応ユニット」と表記しています。

施工上のご注意

- 施工は電気工事士の有資格者が行ってください。
- 誤操作やいたずら防止のため、LAN対応ユニットを設置するキャビネットの扉には“鍵”を設けることをおすすめします。
- LANケーブル差込口の端子、また接続しているLANケーブルのモジュラープラグの端子に触れたり、帯電したものを近づけたりしないでください。 静電気による故障の原因になります。
- LANケーブル差込口に接続されたLANケーブルを、帯電するものの上や近辺に放置しないでください。
静電気による故障の原因になります。
- RS-485通信線・LANケーブルは電源線や大電流が流れる電線と並走して配線しないことを推奨します。誤動作の原因になります。
（やむを得ず並走してしまう場合は、30 cm程度離して配線することをおすすめします）

《使用環境について》

- 次のような場所では使用しないでください。
寿命の低下、動作不良の原因になります。
  - ・周囲温度が-10～+50 ℃の範囲を超える場所
  - ・湿度が80 % Rhを超える場所または結露する場所
  - ・日光が直接あたる場所
  - ・腐食性ガス、ほこり、塩分、油煙の多い場所
  - ・振動、衝撃の多い場所
  - ・雨、水滴がかかる場所

  注）ラジオ・テレビジョン受信機の近くで使用すると受信障害を引き起こす場合があります。
- 電源線・強電部の近くに設置して使用すると通信障害を引き起こす事があります。
  ※ LAN対応ユニットはキャビネットを設け、電源線・強電部から離して設置してください。
  ※ キュービクル内への設置はできません。

＜ 無料修理規定 ＞

1．取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
（イ）無料修理をご依頼になる場合には、施工店にお申しつけください。
（ロ）施工店に無料修理をご依頼にならない場合には、お近くのご相談窓口にご連絡ください。
（ハ）この商品は、出張修理をさせていただきますので、修理に際し本書をご提示ください。
2．ご転居の場合の修理ご依頼先などは、施工店またはお近くの修理ご相談窓口にご相談ください。
3．ご贈答品などで本保証書に記入の施工店で無料修理をお受けになれない場合には、お近くの修理ご相談窓口へご連絡ください。
4．保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
（イ）使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
（ロ）お引渡し後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷
（ハ）火災、地震、水害、落雷、その他天災地変および公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障および損傷
（ニ）指定外の使用条件で使用された場合に生じた故障および損傷
（ホ）他の接続機器および接続部材に起因して生じた故障および損傷
（ヘ）別に指定する摩耗品の部品、その他付属品の故障および損傷
（ト）本書のご提示がない場合
（チ）本書にお引渡し年月日、お客様名、施工店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
（リ）離島または離島に準ずる遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する実費
5．本書は日本国内においてのみ有効です。
6．本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

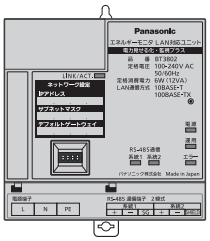
修理メモ

※お客様にご記入いただいた個人情報（保証書控）は、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、施工店または、お近くの修理ご相談窓口にお問い合わせください。
※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については、取扱説明書をご覧ください。
※This warranty is valid only in Japan.

1 梱包内容の確認

◆ 下記のものが含まれていることをご確認ください。

- ●本体（BT3802）

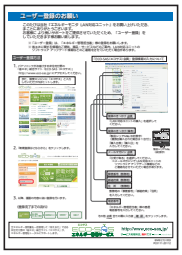


- ●CD-ROM（1枚）

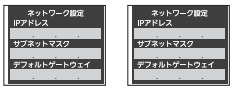
※ 取扱説明書（施工説明付き）

- ●施工説明書〔簡易版〕（1セット）兼保証書（本書）

- ●ユーザー登録のお願い書（1枚）



- ●ネットワーク設定記入用ラベル〔予備〕（2枚）



- ●キオスクモード解除用説明シール（1枚）

◆ユーザー登録のお願い◆

・LAN対応ユニットのご使用に際して、より良いサポートをご提供させていただくため、同梱のユーザー登録のお願い書『ユーザー登録方法』に従って「ユーザー登録」をお願い致します。

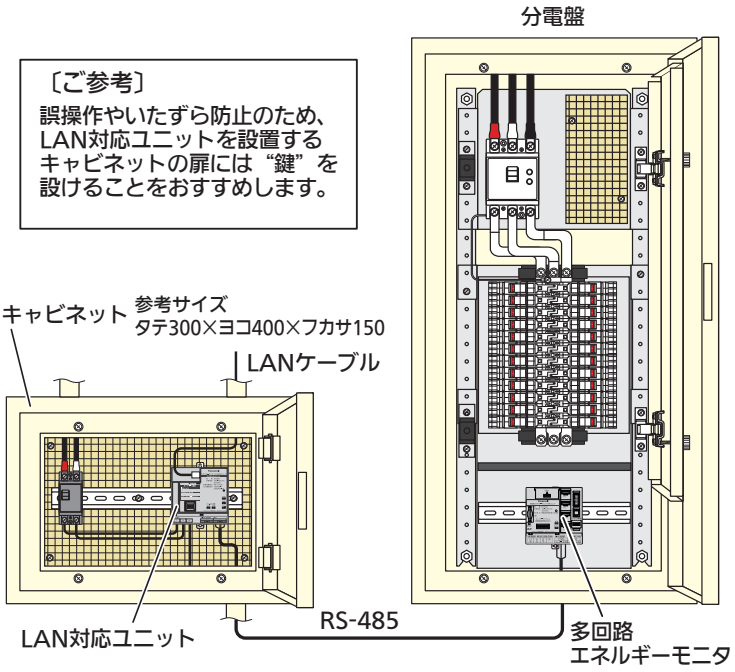
2 設置前のご注意

推奨　設置例

LAN対応ユニットはキャビネットなどを設け、電源線・強電部から離して設置することを推奨します。

※ LAN通信はRS-485通信に比べ、電磁波の影響を受けやすいため。

〔ご参考〕
誤操作やいたずら防止のため、LAN対応ユニットを設置するキャビネットの扉には“鍵”を設けることをおすすめします。

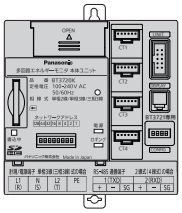
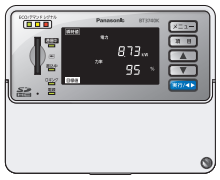
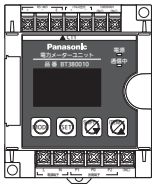
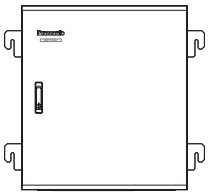
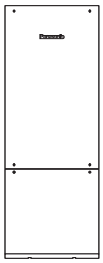
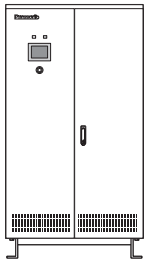


3 システム構成前のご注意

LAN対応ユニット 電力見せる化・監視プラス（品番：BT3802）と接続できる端末

2014年7月現在

多回路エネルギーモニタ（品番：BT3720K･BT37202K）	エネミエール S(通信機能付)（品番：BT3740K）	電力メーターユニット（品番：BT380010）	パワーコンディショナ（シリーズ品番:VBPCTシリーズ）	パワーステーション	産業用蓄電システム

ご注意 多回路形電力モニタ　WHモニタ12（品番：BNZY8210WHM）
エネミエール S（品番：BT3730K）
多回路電力チェッカー（品番：BT3710）
は接続できません。

※ 接続できる創蓄機器の一覧と詳細品番・本製品の対応ソフトバージョンについては、
当社「エネルギーモニタシリーズ ホームページ」
「LAN対応ユニット 電力見せる化・監視プラス 商品仕様書」にてご確認ください。

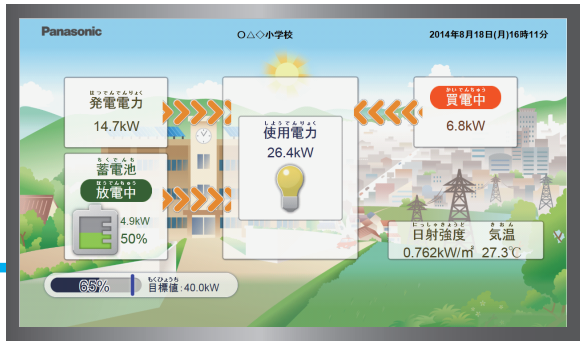
4 LAN 対応ユニット 電力見せる化・監視プラスの概要

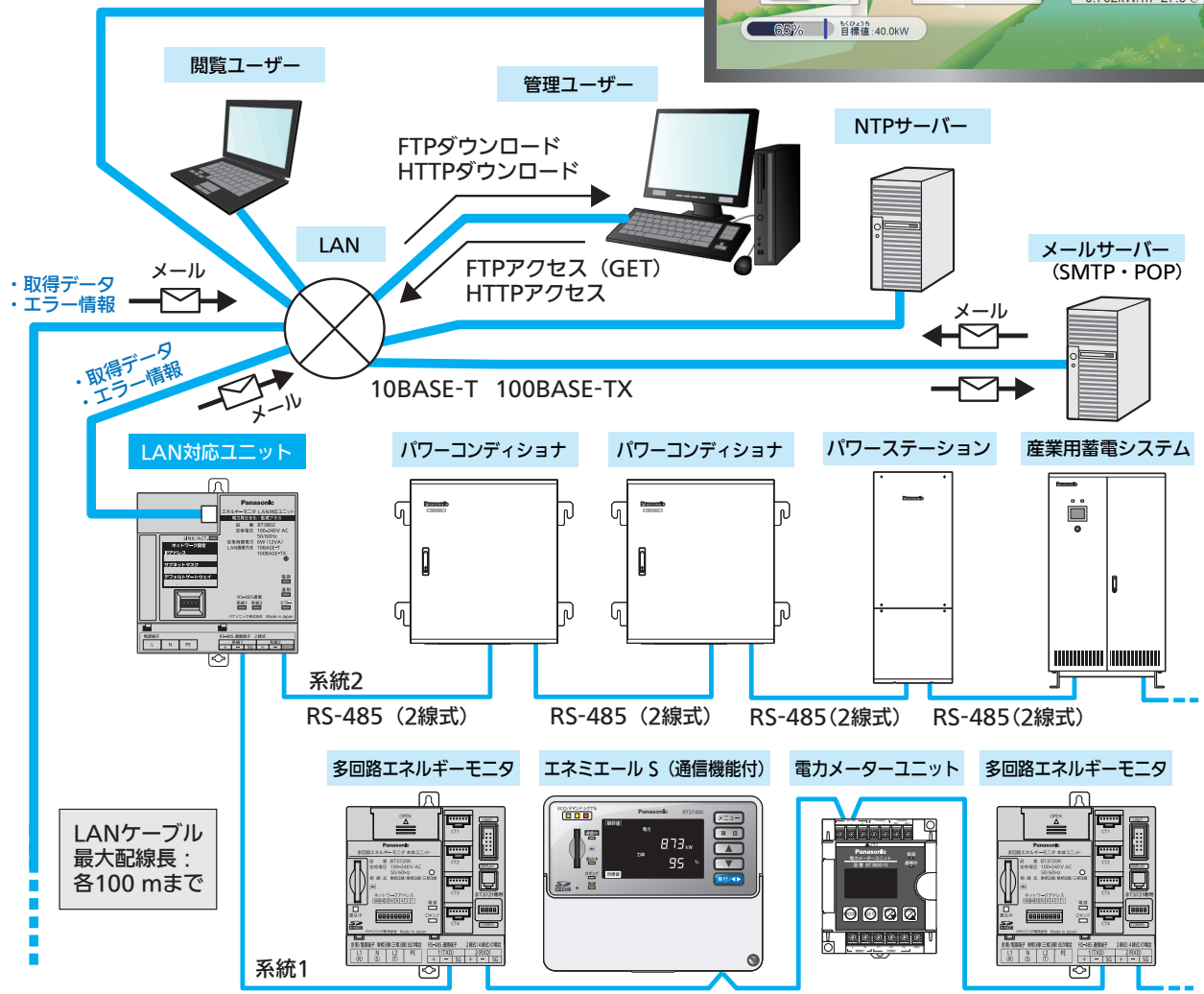
《パナソニック製テレビの「アクトビラ」機能で画面を表示させる場合》

『LAN対応ユニット 電力見せる化･監視プラス』は、
当社エネルギーモニタシリーズ計測器端末で計測した
電力データなどをWebブラウザー上で管理したり
表示できる機能と、創蓄機器の状態通知機能を搭載した
LAN変換用ユニットです。

※ ネットワーク関連機器は、別途ご準備いただきLAN環境を
構築してください。

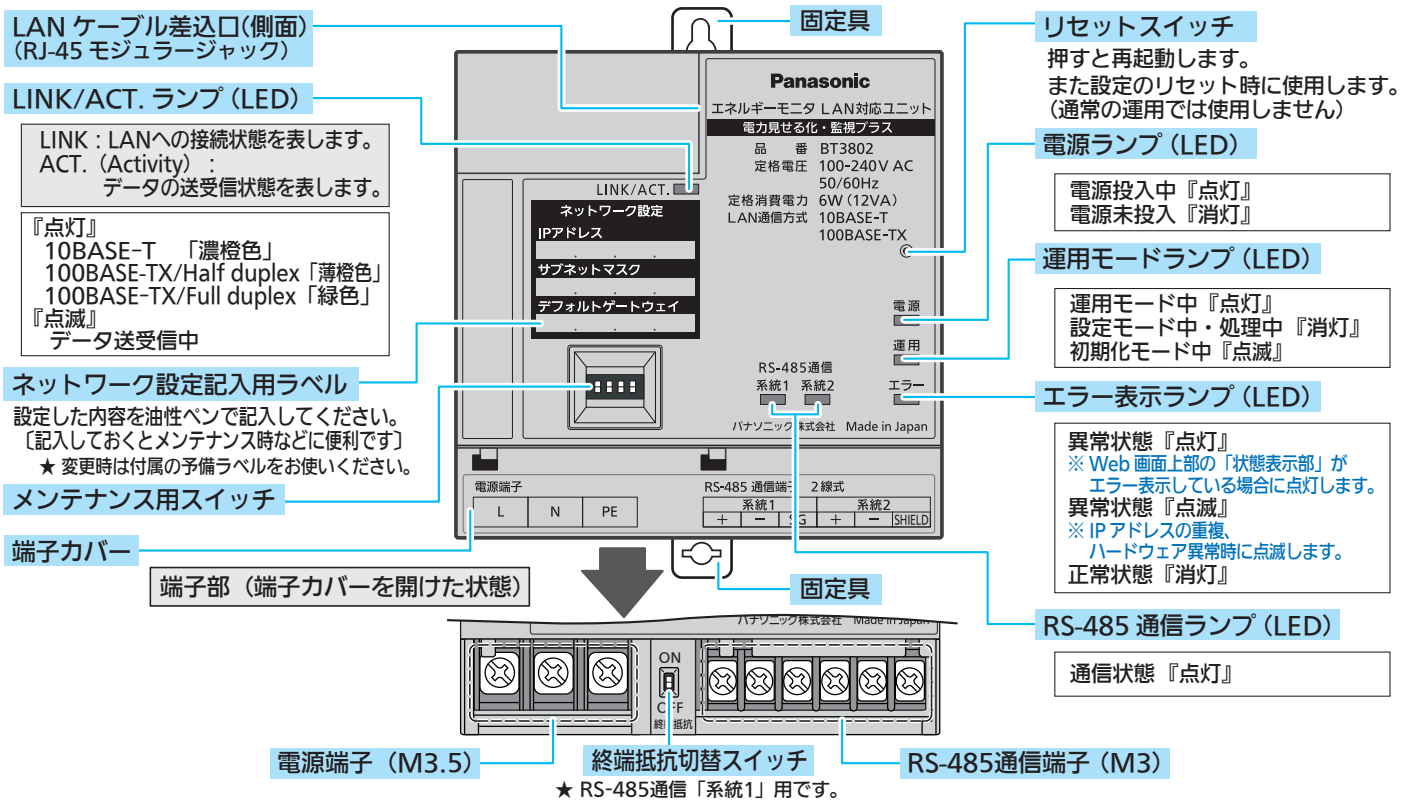
テレビ画面





端末最大接続数：10台まで （計測器端末と創蓄機器含む：組合せは自由）RS-485通信線　最大配線長：800 mまで

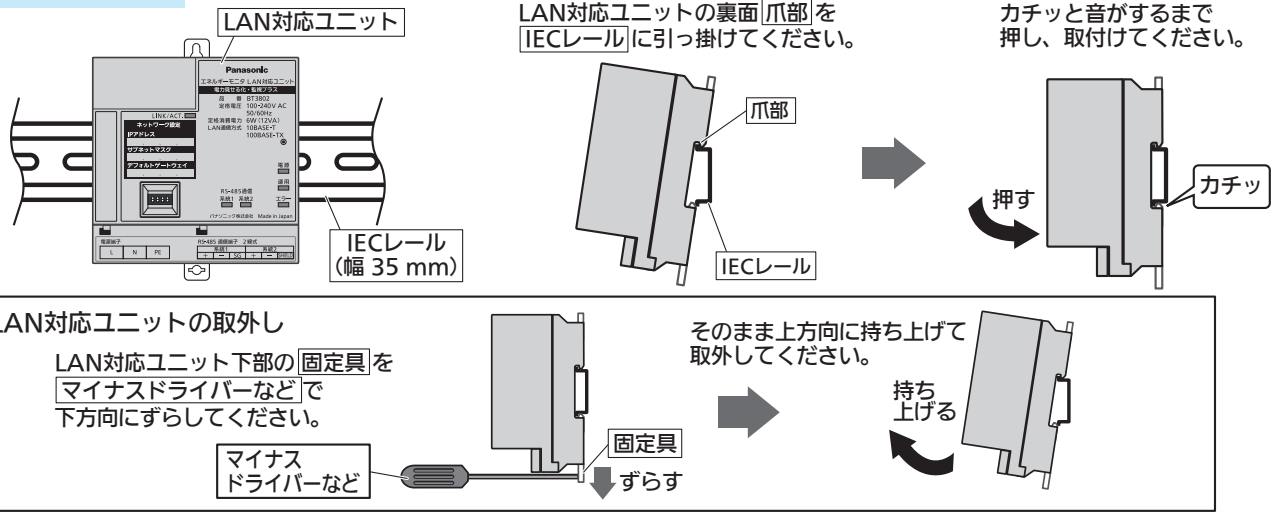
5 各部のなまえ



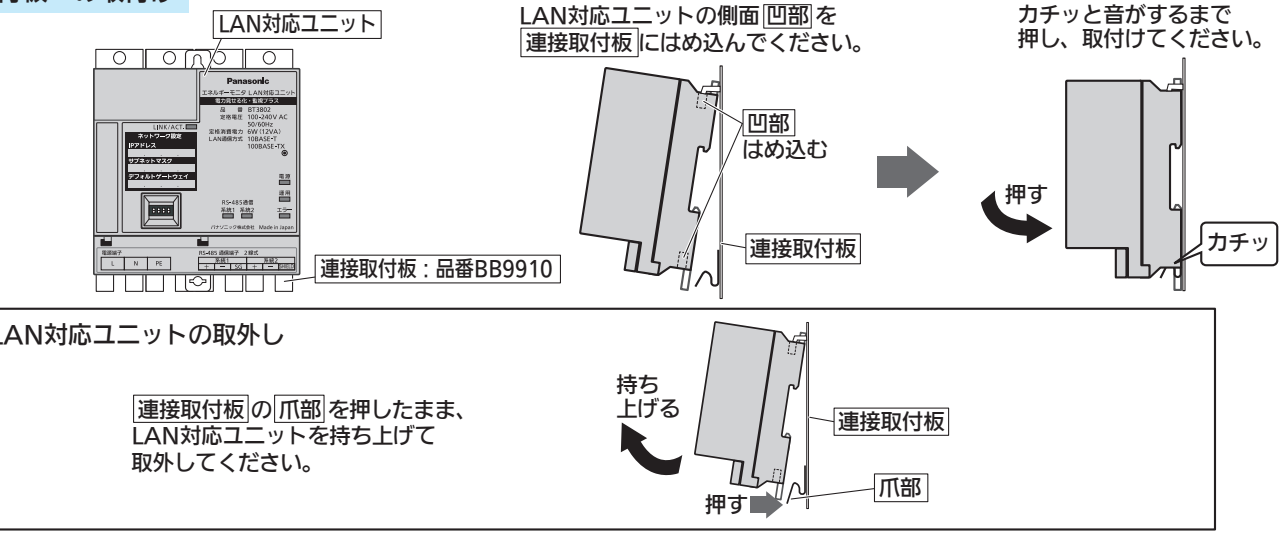
6 設置方法

以下のいずれかの方法で取付けてください。

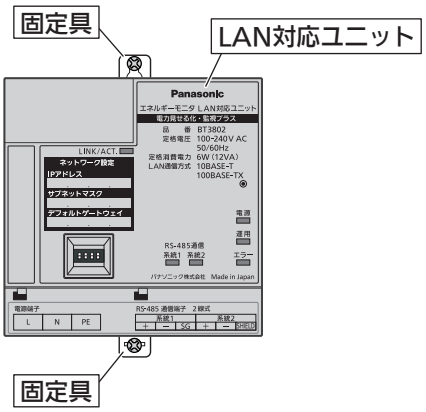
IECレールへの取付け



連接取付板への取付け



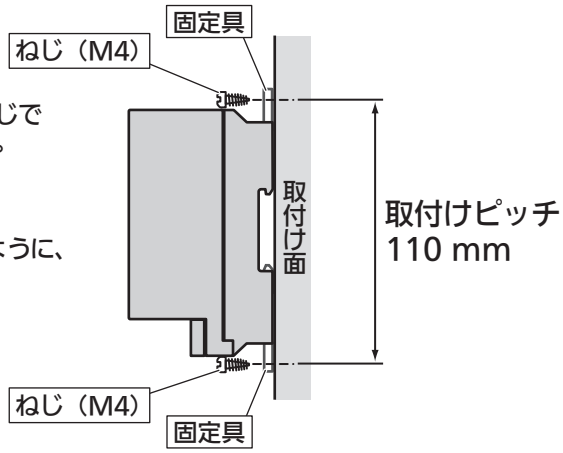
固定具での取付け



上下の固定具をねじで
取付けてください。

ご注意

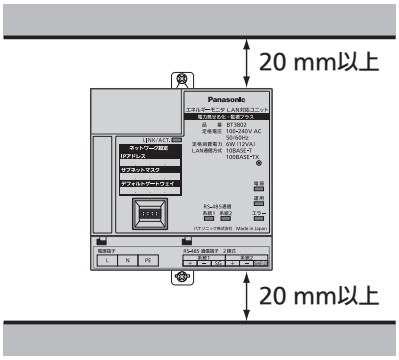
落下の危険がないように、
しっかりと
固定してください。



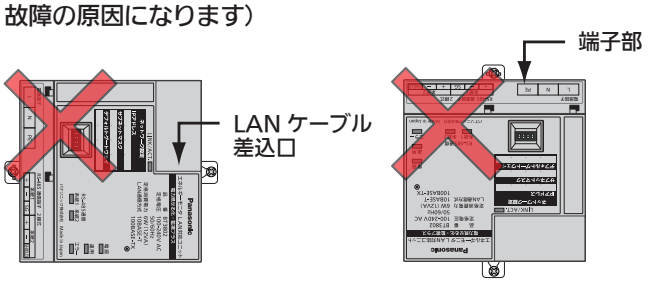
7 設置時のご注意

ご注意

● 設置後のメンテナンス時など、作業をしやすくするために
LAN 対応ユニットの上下に 20 mm 以上のスペースをとってください。
（LANケーブル着脱時やシリアルNo.確認のためスペースが必要です）

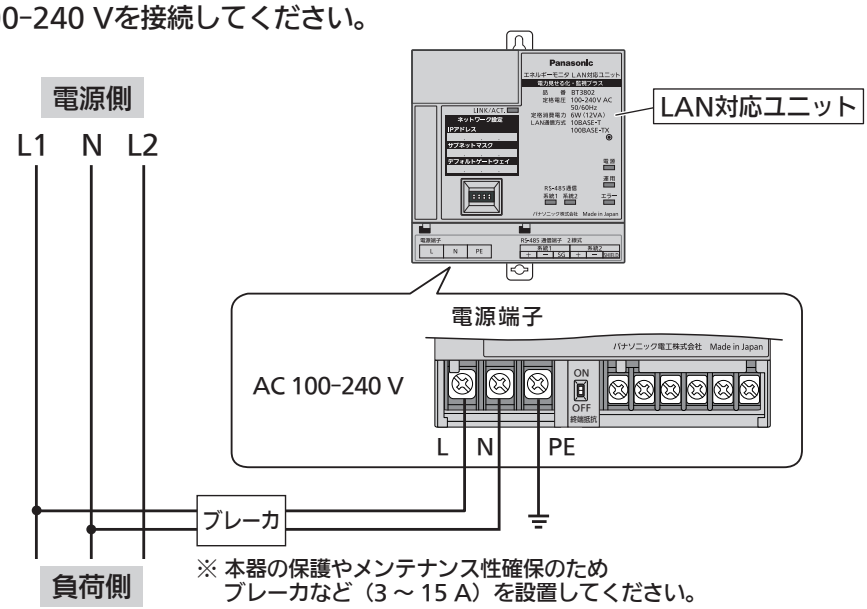


● LAN ケーブル差込口や端子部を上向きに設置しないでください。
（ほこりや水滴などが LAN ケーブル差込口や端子部から入ると、
故障の原因になります）



8 電圧入力の接続方法

電源端子（L-N）にAC100-240 Vを接続してください。



※ 本器の保護やメンテナンス性確保のため
ブレーカなど（3 ～ 15 A）を設置してください。

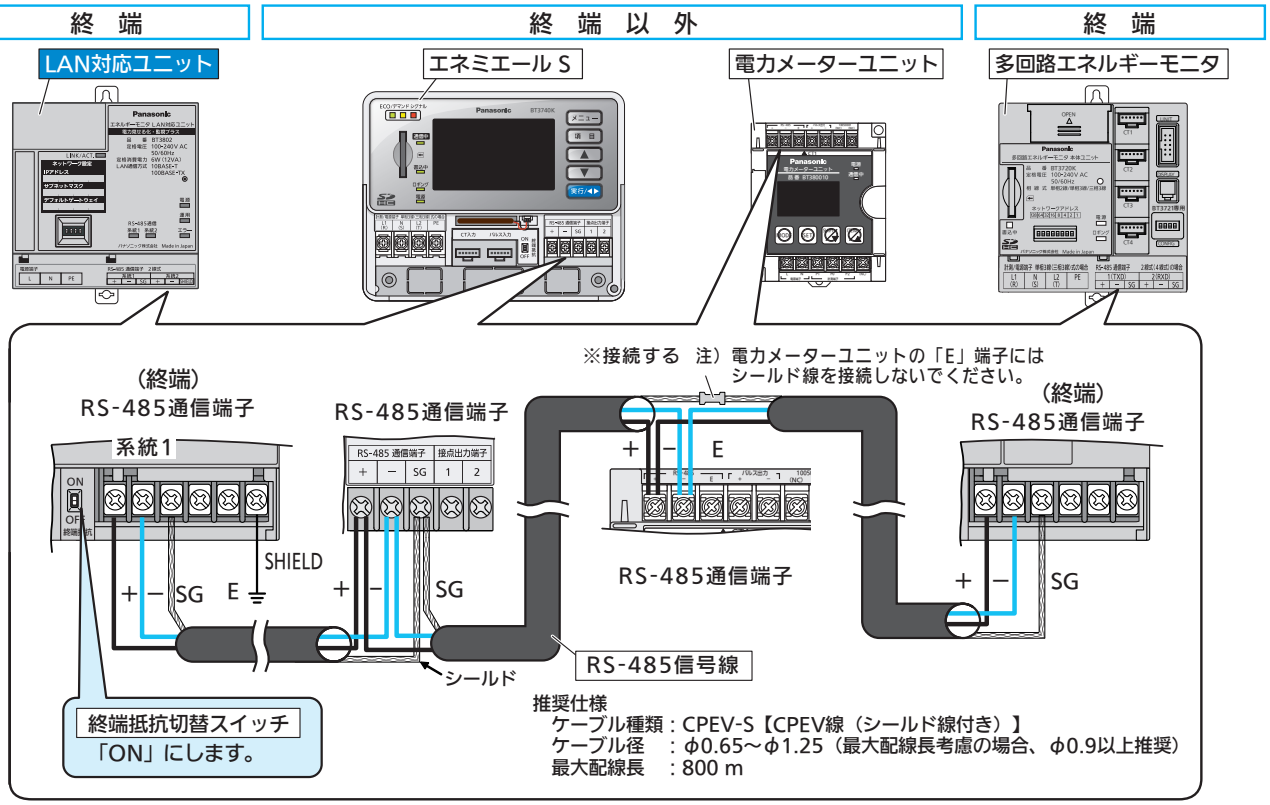
ご注意

1.LAN 対応ユニットに接続する入力電源の相線式は接続する計測器端末の
入力電源（相線式）と合わせる必要はありません。
2. 電源端子（M3.5）は適正締付トルクで確実に締付けてください。
● 適正締付トルク：0.7 N·m
3.PE端子を必ず接地してください。

9 ネットワークの接続方法（RS-485 通信）系統 1

ネットワークシステムとして使用するにはRS-485信号線が必要です。下図のようにRS-485信号線を接続してください。

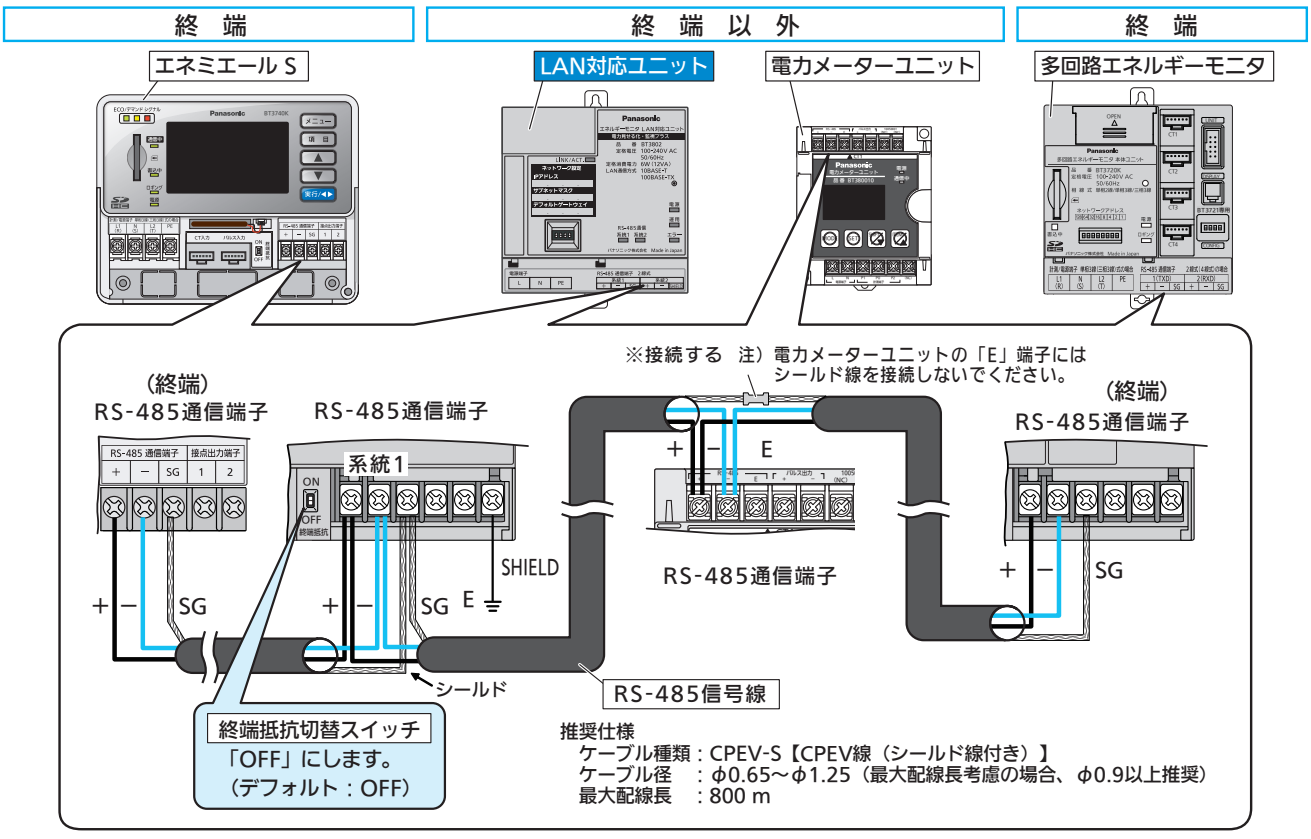
LAN対応ユニットをネットワーク終端に設置する場合



ご注意

1. ネットワーク配線（RS-485 信号線）は強電部（電源系配線）とできるだけ離して配線してください。（ノイズ対策のため）
2. RS-485 のシールド線は LAN 対応ユニットの「SHIELD」端子から一点接地してください。
   （一点接地しないとノイズの影響により通信エラーが発生する場合があります）
3. 通信端子（M3）は適正締付トルクで確実に締付けてください。　● 適正締付トルク：0.6 N· m
4. 終端抵抗切替スイッチを「ON」に設定してください。

LAN対応ユニットをネットワーク終端以外に設置する場合



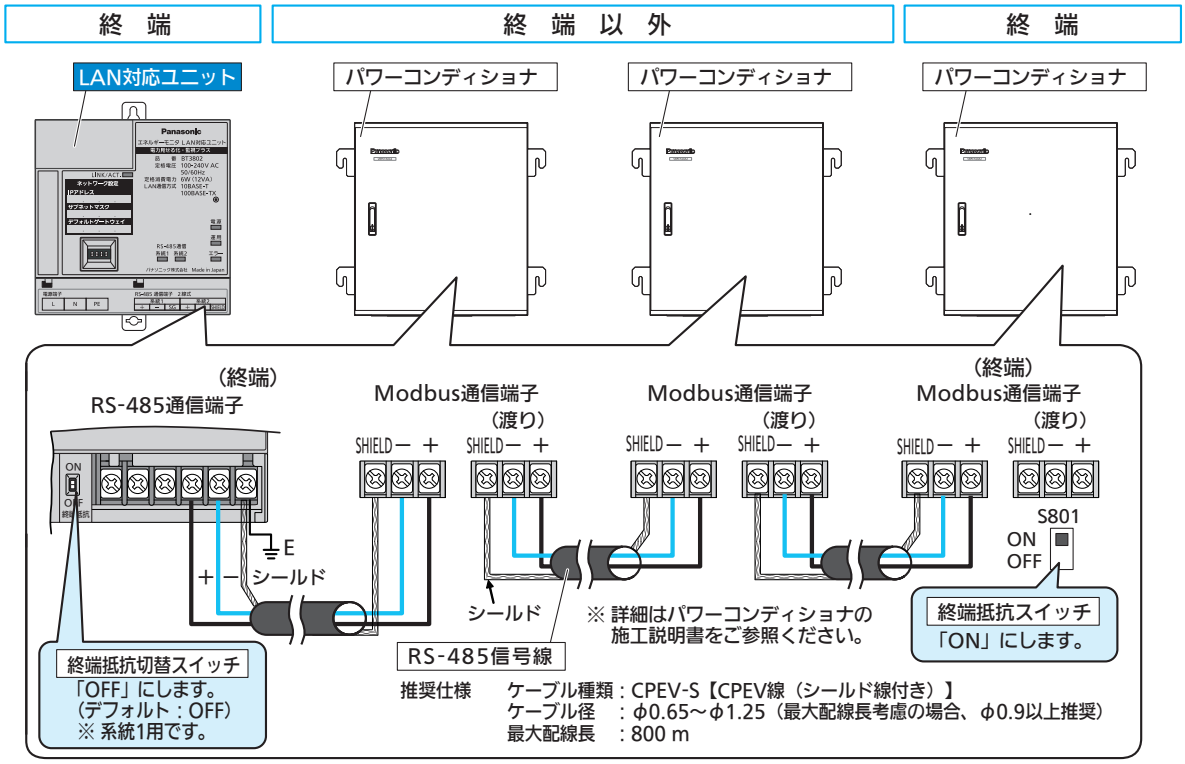
ご注意

1. ネットワーク配線（RS-485 信号線）は強電部（電源系配線）とできるだけ離して配線してください。（ノイズ対策のため）
2. RS-485 のシールド線は LAN 対応ユニットの「SHIELD」端子から一点接地してください。
   （一点接地しないとノイズの影響により通信エラーが発生する場合があります）
3. 通信端子（M3）は適正締付トルクで確実に締付けてください。　● 適正締付トルク：0.6 N·m

9 ネットワークの接続方法（RS-485 通信）系統 2

ポイント　LAN対応ユニットは必ずネットワーク終端になるよう接続してください。

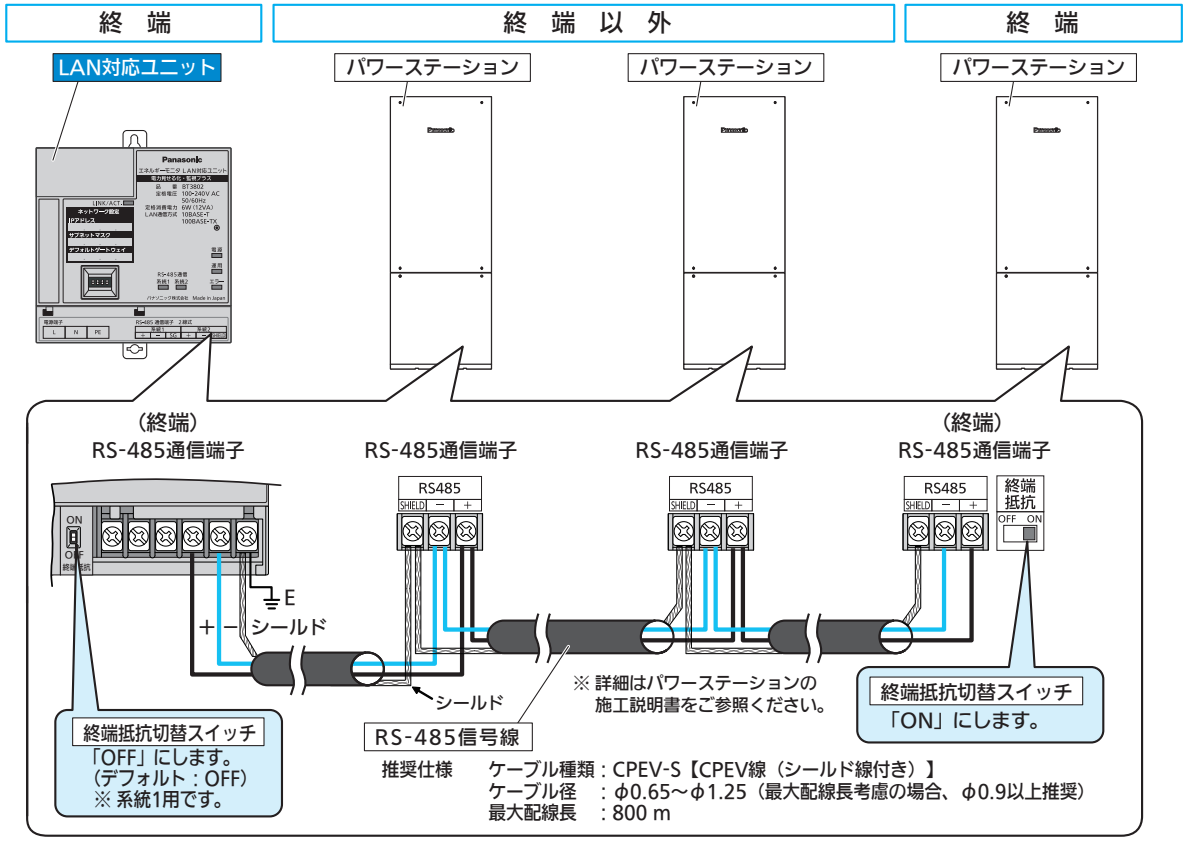
パワーコンディショナの場合



ご注意

1. ネットワーク配線（RS-485 信号線）は強電部（電源系配線）とできるだけ離して配線してください。（ノイズ対策のため）
2. RS-485 のシールド線は LAN 対応ユニットの「SHIELD」端子から一点接地してください。
（一点接地しないとノイズの影響により通信エラーが発生する場合があります）
3. 通信端子（M3）は適正締付トルクで確実に締付けてください。　● 適正締付トルク：0.6 N･m
4. 終端になるパワーコンディショナの終端抵抗スイッチを「ON」に設定してください。

パワーステーションの場合

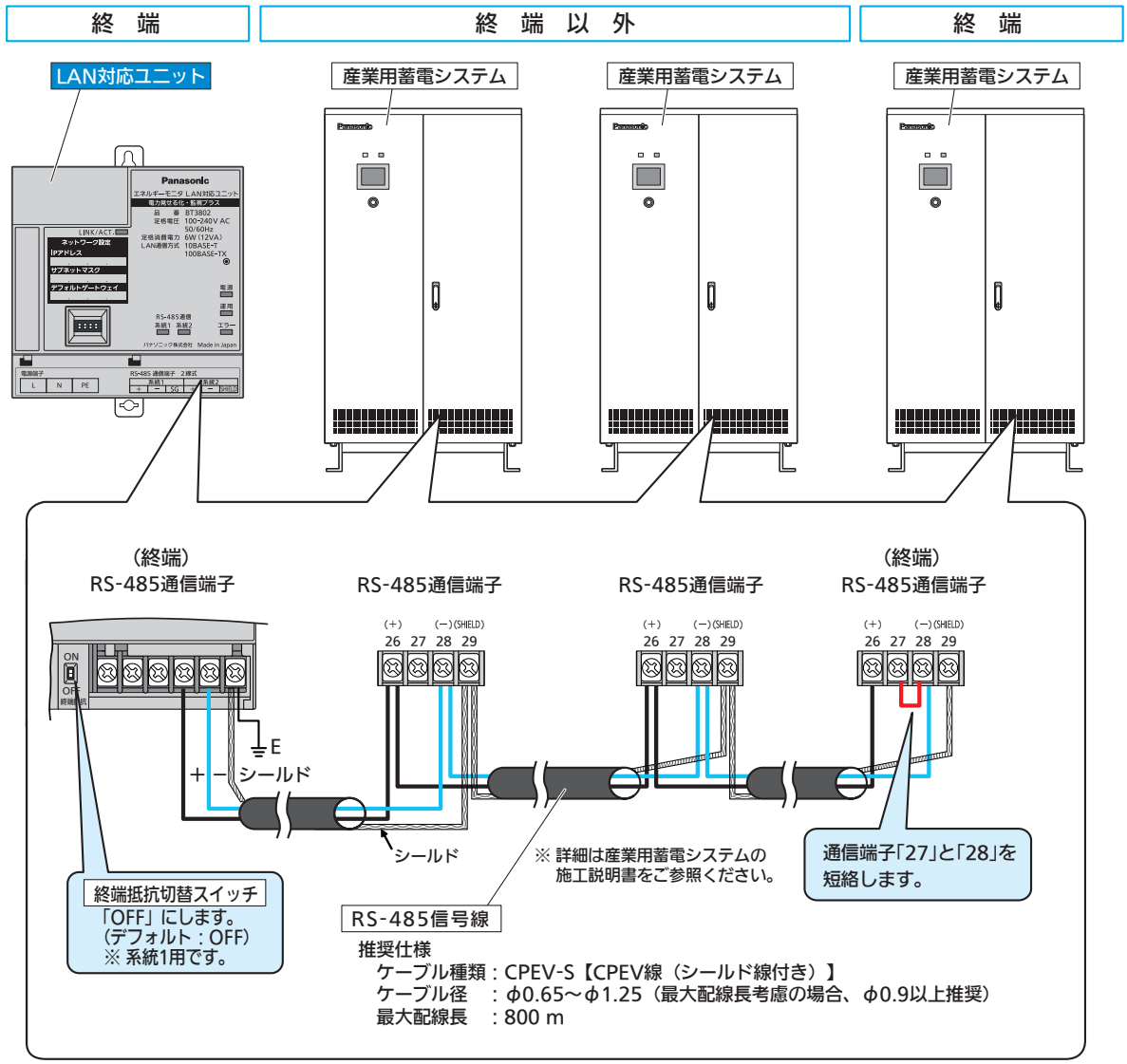


ご注意

1. ネットワーク配線（RS-485 信号線）は強電部（電源系配線）とできるだけ離して配線してください。（ノイズ対策のため）
2. RS-485 のシールド線は LAN 対応ユニットの「SHIELD」端子から一点接地してください。
（一点接地しないとノイズの影響により通信エラーが発生する場合があります）
3. 通信端子（M3）は適正締付トルクで確実に締付けてください。　● 適正締付トルク：0.6 N･m
4. 終端になるパワーステーションの終端抵抗切替スイッチを「ON」に設定してください。

9 ネットワークの接続方法（RS-485 通信）系統 2

産業用蓄電システムの場合



ご注意

1. ネットワーク配線（RS-485 信号線）は強電部（電源系配線）とできるだけ離して配線してください。（ノイズ対策のため）
2. RS-485 のシールド線は LAN 対応ユニットの「SHIELD」端子から一点接地してください。
   （一点接地しないとノイズの影響により通信エラーが発生する場合があります）
3. 通信端子（M3）は適正締付トルクで確実に締付けてください。　● 適正締付トルク：0.6 N·m
4. 終端になる産業用蓄電システムの通信端子「27」と「28」を短絡してください。

【ご相談窓口における個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容を録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。
なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。
個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック株式会社
パナソニック エコソリューションズ電路株式会社
〒571-8686　大阪府門真市門真 1048 番地　TEL（代表）06-6908-1131

©Panasonic Corporation 2014

8M8 607 002
PC0514-10714